

ようこそ
片瀬山カフェ&ギャラリー
エスPOWERルへ

片瀬山での無線基地局建設を考える会からの経緯と
これからの電磁波問題の学習展示の構想

片瀬山風致地区の西端の富士見坂からは、
北は大山丹沢、西に富士山一箱根伊豆、南に相模湾が一望できます。



この片瀬山風致地区の南端の高台の湘南モノレール社の敷地に、
楽天モバイル社の携帯基地局が建つということから、近隣住民の運動が始まった。





当該の携帯
基地局建設
予定地



**K宅の南側をモノ
レールが行きかう。
そのモノレールの向
こう側の目の前の空
地に電波塔が建つと
いう。**



K宅のとなりの家から
みたモノレールと
腰越・相模湾方面



同じく隣のS宅から
みた富士山と
大山丹沢の眺望

○印の範囲が鎌倉市基準に基づく電波基地局の高さ15mの2倍の半径30m。
この内側の住民が説明の対象になる。ここでは14世帯。



2021年12月27日
藤沢市片瀬山 3-34-3
鈴木萬壽子 TEL 090-8776-7501
藤沢市片瀬山 3-34-4
加藤 巧

通信基地局設置予定事業者へ近接住民への説明を促すことを求める要望書

要望項目

市長におかれましては、私どもの居住する片瀬山3丁目34の地に設置予定の通信基地局周辺住民に、工事計画の概要を説明することを求めて下さい。

要望趣旨

さる12月2日に湘南モノレール片瀬山駅の近くのモノレール会社所有の空地で工事していた業者によるとR社の基地局で約15mの高さの「鉄塔」を建てるとのこと。自治会にもR社より簡単な説明がありましたが建設の工期や構造外観、電磁波の強さなどはわからないとのことでした。そのため私たちはこれまで、R社に直接要望をしましたが、説明については断られています。市の建設部局に聴いたところでは、①15m以上の高さの場合の建築確認申請、②風致地区における行為許可申請 ー以上の2つの申請手続きが必要とのことでした。この2点について情報公開請求をすることはできるとのことですが、それでは遅すぎます。そのため私たちは、以下の2点の理由で要望するものです。

1. 鎌倉市には「携帯電話等中継基地局の設置等に関する条例」があり、その第6条において市への工事計画書の提出が義務付けられていること、さらに第7条では近接住民等への説明をすることが書かれています。なお、この予定地には鎌倉市条例で示されている鉄塔の高さ(約15mとされている)の2倍の半径30m以内の近接の地権者は約13軒ありそのうち鎌倉市の方が約5軒と見込まれます。

2. 予定地である片瀬山の全地区は風致地区であり、街なみ景観に最大限の配慮をすべき地域であることです。

私も以上の要望に賛同します。

氏名	住所

**2022年12/27、市長宛て要望書提出、近隣の署名数19筆。
電波塔予定地から30m以内の住民14世帯のうち9軒から賛同署名を得る。**

1 概要

建設予定地：神奈川県藤沢市片瀬山3丁目3の34の4（モノレール脇地）

建設物：当該地に約15mの高さの携帯中継基地局をつくるというもの

事業者：楽天モバイル

土地所有者：湘南モノレール

近接住民：この地区は藤沢市片瀬山と鎌倉市津西、および西鎌倉の3つの自治会が接している所で、鎌倉市の以下の条例に基づく基地局の15mの高さの2倍の30m以内に住む住民は14世帯、9世帯が片瀬山、4世帯が津西、1世帯が西鎌倉です。

2 要望について

A 近接住民への説明会開催のこと

B 風致地区の環境への影響のこと、及び健康への懸念のこと

3 要望根拠となる A・B2つの規定について

A. 鎌倉市の携帯電話等中継基地局の設置等に関する条例第4条の抜粋:

- ①事業者の責務として事業者は携帯電話基地局を設置しようとするときは、近接住民等の意見を聞き紛争の防止につとめなければならない。
- ②事業者は携帯電話等中継基地局の設置をしようとする場合において、近接住民に学校、児童福祉施設その他の規則で定めるものの土地使用者等が含まれるときは、当該施設の管理者の意向を尊重するよう努めなければならない。

B. 片瀬山は藤沢市風致地区であること、本条例の目的・許可の抜粋:

- ③第1条目的 この条例は、都市計画法(昭和43年法律第100号)第58条第1項の規定に基づき、風致地区内における建築物の建築、宅地の造成、木竹の伐採その他の行為について必要な規制を行い、もって都市の風致を維持することを目的とする。
- ④第2条許可等 風致地区内において次に掲げる行為をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。
 - (1) 建築物その他の工作物(以下「建築物等」という。)の新築、増築、改築又は移転
 - (2) 建築物等の色彩の変更 (3)以下略

5 基地局設置予定地基地局周辺のこれまでの環境状態 ()内は今後の懸念

1. 片瀬地区は江の島・鎌倉の観光地です。片瀬山駅は駅前で海が見える最高の景色の場です。
2. 片瀬山地区は北に災害時の片瀬配水池、南に防災倉庫があり、前者は藤沢市南部の水源、後者は藤沢市全域を対象としていることから、片瀬山自治会連絡会では無電柱化の要望書を提出し市では現在検討中です。(電柱も鉄塔も倒壊により道路が通行不能になります)
3. 海に面した道路は、避難路になっています。鉄塔設置の場は鎌倉・江の島の避難路であり、モノレール利用者の避難場所でもあります。(倒壊による避難路通行不能)
4. 鉄塔設置場所は高台であり、風が強いと鉄筋コンクリートの家が揺れるほど風が強い所です。台風異常気象時の風は体が吹き飛ばされそうです。
5. 湘南モノレールの開設時、鎌倉地区は風致地区であるので、モノレール開設に住民の反対があり、長い地下トンネルを作り、住民はバスを使用しています。
6. 雨はたびたびモノレールの線路下を濁流となります。

7. モノレールは午後 11:50 分で江の島行きは終電です。それ以後は静かになります。(しかし鉄塔が立ち、風が吹くと異常騒音が発生する懸念があります。)
8. モノレールによる地面の揺れが以前より強いと感じます。(鉄塔が近接して立つと鉄塔とモノレール送電線の電気事故の懸念があります。)
9. 鉄塔は被雷対策がされていても近隣住宅は対策をしていません。(雷サージ等による被害が近隣住宅におこります。)
10. 鉄塔の場から登る道路はモノレールを作るときに歩道がなくなっています。車道には車が走るの、緊急時歩くときは命がけです。この避難場所は、緊急避難時に近隣に住む人には一時待機場所として必要な空地です。(この空地を無くしたり狭くしたりしないで欲しい。)
11. 藤沢市片瀬山の近接住宅在住者にとって、鉄塔は海の見える南側になります。(電磁波過敏症の方でなくても電磁波に懸念のある方は、電磁波を少しでも避けようとすれば、鉄の雨戸を閉めて暮らさなければなりません。勿論眺望は台無しです。)
12. 湘南モノレールは近隣住民に夜間補修等に関して深夜音をたてて作業することがありますが、工事をする場合必ず住民に知らせています。(しかし、基地局に関しては、告示がありません。)

片瀬山風致地区での無線基地局建設を考える会

発足集会 2022.1.23





2022年1/23の
無線基地局建
設を考える会
発足集会には
20名が集まっ
た。



片瀬山風致地区での無線基地局建設を考える会

第2回現地集会・総会

◇1月30日 日曜13時～

◇片瀬山無線基地局予定地
(モノレール片瀬山駅から
西側50m上る)

(事業者の楽天モバイルさん、湘南モノレール社さんへも案内状を出しています)



(1/23の現地発足集会)

1/23、片瀬山風致地区での無線基地局建設を考える会が発足しました。

13時より基地局建設予定地にて開かれた同会には20名が参加し、会の規約を採択し正式に活動を開始します。来賓には藤沢の市会議員2名、鎌倉市会議員1名、運動団体のチームキャッツの方が挨拶されました。

説明と挨拶を求めた当事者である楽天モバイル社と湘南モノレール社の参加はありませんでした。

住民の意見要望では、Aさんが自身の健康に大変な害があることを訴えているにも関わらずこれを無視してのこれまでの楽天の態度に怒りと建設反対の声をあげました。Bさんからも自身の過敏症の体験をふまえて「楽天は住民の健康不安にもっと答えるべきだ」との発言が続きました。

現在会の規約に基づいての会員登録をさせて頂いております。賛助会員登録もできます。どうぞよろしくお願い致します。

今後については、事業者が建設を速めていることから、急速に片瀬山住民に電磁波と健康についてのリーフレットと会のチラシ・宣伝をすることになりました。

当日はコロナ禍変異株まん延の中ですので、感染に気を付け、受付簿に記入した上で、ご参加下さい。

携帯基地局の計画が 中止になりました。 (片瀬山モノレール駅西側)

片瀬山風致地区での無線基地局を考える会

連絡先 片瀬山 3-34-4 加藤巧

☎ 090-8776-7501

昨年暮れにわかった標記携帯基地局計画に対し、当会では藤沢市長に対し 12/27 日に楽天事業者に集団説明会と求める陳情を行うと共に 1/23 日に正式に住民の会を発足しました。

またこれまで 2 回楽天モバイル社と湘南モノレールに対し要望書を提出してきました。

特にモノレール社に対しては 9 人で要望におもむき、再考を訴えてきました。

1月27日、湘南モノレール社より「役員会議において楽天携帯基地局の申し出をお断りした」との返事を確認しました。

皆さまからの署名やご賛同が大きな力となり、要望が実りました。

これまでのご理解とご協力ありがとうございました。

ネット動画でみた電磁波の怖さ 無線基地局は本当に安全か？

ー以下のYouTube 動画をご覧ください。



・脳歯科医・藤井佳朗氏の実験による告発です

<https://www.youtube.com/watch?v=IAHACwDCbdY>

①虫歯で埋め込んだ金属がスマートホンの電磁波で反応し、平衡感覚が消失した事例の実験
ーアルミシートをかぶせ、特定の歯にアルミ箔で覆う実験によって電磁波の影響を確認。



②(同上画像で 12 分 16 秒からの映像)近くのスマートメーターの電磁波による平衡感覚の消失した事例の実験
ー患者を右側に移動すると平衡感覚が消失し、左では正常。この右のスマートメーターにラジオを近づけると雑音が入るが左のアナログメーターでは入らない。



→心臓病で金属のペースメーカーや人工弁・ステントを埋め込んでいる方、或いは人口の数%の方に潜在するといわれる電磁波過敏症の懸念がある方も、基地局の発する電磁波によって症状が顕在する懸念があります。私たちは、こうした方の住民疫学調査は、本来事業者が実施するべきと主張しますが、診断書を事業者に提出することが大切です。

6 これまでの文献による電磁波の健康影響に関する懸念について

1. 電磁波過敏症の人の存在が確認されていること。
2. 電車の中でも心臓ペースメーカーを装着している人への配慮から携帯不使用としていること。
3. 医学論文によると、癌発生等の健康障害が起こるとされている。
おもな症状として白内障や緑内障によって、失明する人が増える他、皮膚がん、白血病、体温上昇、男性や女性の不妊が増えると警告しています。さらに自閉症で生まれる子供が50%、それ以上に増える可能性もあるとアメリカのワシントン州立大学名誉教授マーテン・R・ポール博士が指摘。
4. 欧州などの高周波の公衆衛生的な規制は日本の1万倍以上とされていること。
5. 赤血球の凝集反応が高まるなどの報告。
6. その他

まとめ

①

集団説明会を求める賛同署名を集める

昨年暮に藤沢と鎌倉の境界にある高台の景勝地、片瀬山住民 A さんから相談の電話が入りました。「モノレールを挟んだすぐ近くの空地に 15m の楽天モバイル(R 社)の携帯基地局ができる。私は心臓病で金属が体に入っているから心配でたまらない。」とのこと。早速お隣の B さんと 3 人で現地を視察。なるほど、ここに建ったら二人とも目の前の距離でした。

お隣の鎌倉市の条例(携帯基地局の高さの 2 倍の半径以内の住民には集団説明会が必要)を読みました。そして、藤沢市でも鎌倉市と同じように半径 30m 以内の住民を訪問して、「携帯会社 R 社と地権者の S 社に集団説明会を求める」市長要望書を作り、これへの賛同署名を集めることにしました。

加藤なを子前県会議員とも相談して近隣の方に説明し署名を開始。結果は 30m 以内の住民 14 世帯のうち 9 軒を含む賛同署名を集めて、先ずは市長に提出。

しかし R 社は「個人への説明には応じるが説明会は義務付けられていない」との態度に終始。

地権者 S 社への要請行動開始

これはならずと、A さんの「風致地区での基地局設置について」という長い説得力のある意見書と要望書をもって、今度は地権者である湘南モノレール(S 社)へ 9 人で要請行動。共闘議員も見守る中、A さんが本社入り口ではありますが 5 分間切々と自身の心臓病のことを訴えました。はじめは「会わない、受け取れない」と言っていた担当者も「預かります」と言って書面を受け取って貰いました。

住民の中には A さん以外にも「高周波による電磁波障害もしくは過敏症の自覚症状を訴え、今後経過観察を要する」旨の診断書を予定している方も生まれました。

住民の会発足集会に 20 人が集まる

まとめ

②

1/23 に現地で発足集会を開きました(写真)、来賓には藤沢と鎌倉の市会議員 3 名、電磁波運動団体の方が参加し挨拶と報告。A さんが自身の健康に大変な害があることを訴えているにも関わらずこれを無視してのこれまでの R 社の態度に怒りと建設反対の声をあげました。T さんも自身の過敏症の体験をふまえて「R 社は住民の健康不安にもっと答えるべきだ」との発言が続きました。

最後に会の規約を採択し、毎週の現地集会の開催と電磁波と健康についての学習会と宣伝をすることを決めていました。



S 社より「当社役員会にて R 社の申し出を正式にお断りしました。」との連絡。B さんの夢

近隣住民が工事の兆候に築いてから 2 か月でのスピード解決。もう一人の一人暮らしの住民 B さんは、「1 階の大部屋を片付けて、将来はここ片瀬山の無線基地局建設に反対する人たちと交流するスペースにしたい。」と言う。片瀬山の歴史風土、電磁波の学習と展示、反対運動の活動日誌、、こうした展示施設と付属のカフェ。運動の中で将来このような施設を作りたいと願う B さんです。

楽天モバイル社の携帯基地局建設計画

藤沢市片瀬山 風致地区

中止させた住民の大きな力 2カ月間のスピード解決

日本共産党市議 山内 幹郎さん(寄稿)

藤沢市片瀬山 内幹郎市議に寄稿してもらった。片瀬山の住民のAさんから相談の電話が入りました。「モノレールを挟んだすぐ近くの空地に楽天モバイル社の15基の携帯基地局を建てたい。私は心臓病で金銭的に余裕がない。私に心臓病で金銭的に余裕がないから心の境界にある高台の景勝地が体に入っているから心臓ペースメーカーなどへの影響を心配した市民らが「片瀬山風致地区での無線基地局建設を考える会」を発足し運動を進めてきました。地権者の湘南モノレールが楽天モバイル社の申し出を断つたため計画は中止に。「住民の力」と話す日本共産党の山



考える会の発足集会＝1月23日、藤沢市

内幹郎市議に寄稿してもらった。片瀬山の住民のAさんから相談の電話が入りました。「モノレールを挟んだすぐ近くの空地に楽天モバイル社の15基の携帯基地局を建てたい。私は心臓病で金銭的に余裕がない。私に心臓病で金銭的に余裕がないから心の境界にある高台の景勝地が体に入っているから心臓ペースメーカーなどへの影響を心配した市民らが「片瀬山風致地区での無線基地局建設を考える会」を発足し運動を進めてきました。地権者の湘南モノレールが楽天モバイル社の申し出を断つたため計画は中止に。「住民の力」と話す日本共産党の山



配られたらならない」とのことでした。

早速、Aさんのお隣のBさんと3人で現地を視察しました。「なるほど、建設予定地は一人の自宅の目前。携帯会社も地権者も住民への不安に配慮すべきだ」と思いました。

鎌倉市の条例では、携帯基地局の高さの2倍の半径以内の住民には集団説明会が必要としています。私たちは、集団説明会を

両社に求める市長への要望書を作り、計画地から半径30メートル以内の住民を訪問し、賛同署名を集めることにしました。加藤を子前副議長とも相談して署名活動を開始。結果は30メートル以内の住民14世帯のうち9世帯を含む賛同署名を集めて、まずは市長に提出しました。しかし、楽天モバイル社は「個人への説明には応じ

2022年2月27日 新かわがわ 第2622号

るが説明会は義務付けられない」との態度に終始しました。

これではならずと、1月12日、「風致地区での基地局設置について」としたAさんの説得力ある意見書と要望書を持って湘南モノレールへ9人で要請しました。共闘する議員も見守るなか、Aさんが本社入り口で切々と自身の心臓病のことを訴えました。はじめは会社を訴えませんでした。その後、湘南モノレール社より「当社役員会にて楽天モバイル社の申し出を正式にお断りしました」との連絡がありました。

近隣住民が工事の兆候に気付いてから2カ月でのスピード解決です。

住民の会の発足集会

今年1月23日には現地「一階の大部屋を片付けて、片瀬山の無線基地局建設に反対する人々と交流する会」が発足集会を開きました。来賓には藤沢、鎌倉両市議3人、電磁波運動団体の方が参加しあいさつと報告を行いました。

「Aさんは、自身の健康に大変な害があることを訴えているにも関わらずこれを無視する楽天モバイル社の

態度に怒りと建設反対の声をあげました。Tさんは、自身の過敏性の体験をふまえて「楽天モバイル社は住民の健康不安にもっと配慮すべきだ」と発言しました。最後に会の規約を採択し、現地集会の毎週開催と電磁波と健康についての学習会と宣伝をすることを決めました。

携帯無線基地局の建設中止に 住民運動と健康上影響の診断書の力

モノレール片瀬山駅横の敷地に、楽天モバイル社(以下R社)携帯基地局の設置が予定されていることを知った近隣住民の方々が中止を求め、R社に住民説明会を行ってほしいと要望しました。ところが応じてもらえず、近隣の鎌倉市の住民にも呼びかけ、地域を回り請願署名を藤沢市長宛に提出しました。

市は、「藤沢市では条例がないので、説明会も必要ではなく(鎌倉市には住民説明会を行うよう条例がありますが藤沢にはありません)、また基地局の高さが15m以内であれば建築許可も必要ないが、皆さんの要望は事業者伝える」とのことで住民の要望を市から事業者側に伝えて貰いました。

その後、「片瀬山風致地区での無線基地局を考える会」が発足し、鎌倉市民や市議も参加し集会も行いました。さらに敷地の管理者である湘南モノレール社(S社)に要望書を提出しました。

設置場所は、住宅街に近く高台に設置されると強風による騒音や、強い高周波電磁波が放出されるため、近くに住む住民への健康被害が心配されます。

診断書の提出も行う中、S社から「役員会議において正式に基地局の申し出をお断りした」と連絡がありました。

住民の皆さんの署名や賛同が大きな力となり中止させることができました。

私たちは運動の中で、地域には実際に電磁波過敏症の人がいることを重視しました。また現在自覚症状は無いが強い電磁波を受けるとリスクの高い心臓病の方、体に金属を埋め込んでいる方々が、周辺区域には複数人いることで健康被害がでる事を重視しました。

この地での基地局建設はなくなりましたが、無線基地局は近くでも、また全国どこでも増えているので政府もマスコミも健康への影響について報道しないため、多くの市民が知らないまま基地局建設がすすめられています。

電磁波による健康への影響の学習と周知は大切です。電磁波による過敏症の方とハイリスク者の方を早く探し出し、医師の診断書を貰うことは事業者との交渉上

からも大変重要と感じています。(片瀬山風致地区での無線基地局建設を考える会 加藤なを子)



2022年3月1日
第334号

藤沢 エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議
(略称) 藤沢エコネット

主な記事

- ・携帯基地局の設置が中止に
- ・忘れまい 3.11 震災の記憶
- ・核兵器禁止条約発効から1年
- ・脱炭素強力な推進体制を求める



<http://econet2015.sakura.ne.jp>
事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳
☎/FAX 0466-87-4922